

校外学習

－自由と責任－

- 1 学年 第7学年〔中期〕
 2 主題名 自由と責任〔1－(3)〕
 3 ねらい

班員の意見を聞かずに自分勝手な行動をとった結果、保育所の女の子の心を傷つけてしまった主人公の気持ちを考えることを通して、自分の言動が他者にどのような結果をもたらすかということに気付き、責任を持って行動しようとする態度を育てる。

- 4 資料名 「校外学習」
 5 展開

	学習活動と主な発問	生徒の反応	指導上の留意点
導 入	1 「自由時間」の過ごし方について発表する。 ○ あなたは、自由時間をどのように過ごしますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鬼ごっこ ・ サッカー ・ ゲーム ・ おしゃべり ・ 野球 ・ 読書 	○ 多くの生徒に意見を 出させ、資料への興味 付けを行う。
展 開	2 資料「校外学習」を 読んで話し合う。 ○ 「翔太」は校外学習を どのような気持ちで待 っていたでしょう。 ○ 散らばった弁当を拾 っている時、「翔太」 はどんなことを考えて いたのでしょうか。 ◎ 「自由が不自由にな る」ということについ て、翔太自身は海を見 つめながらどんなふう に考えたのでしょうか。 3 自分たちの生活を振 り返って話し合う。 ○ 主人公と同じような 経験はありませんか。 そのとき、どのような 気持ちがしましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自由時間が楽しみ ・ わくわくした気分 ・ 絶対、野球をして遊ぶぞ。 ・ どうしよう。 ・ 大変なことをしてしまった。 ・ 「美里」たちの言うことを聞いてい ればよかった。 ・ 女の子はこの弁当を楽しみにしてい ただろうな。悪いことをしてしまった。 ・ 結局自分がやりたいことしか考えて いなかった。自分勝手だった。 ・ これからは、深く考えて行動しよう。 ・ 自分がしたことは自分が責任をもた なければいけない。 ・ 自由がこんなにも僕を苦しめるなん て思いもしなかった。僕が甘かった。 ・ 社会見学で班からはずれて行動した ために、迷子になってしまった。班の みんなも僕を捜して見学が十分にでき なくなった。悪いことをしてしまった。 ・ 子ども会でスキー場に行ったとき、 滑れると思って上級コースのリフトに 乗った。時間になっても集合場所に帰 って来ない僕を遭難にあったと参加者 のみんなが心配した。迷惑をかけた。 	○ 状況を深く考えずに 行動してしまったこと を押さえる。 ○ ねらいとする道徳的 価値に関わって、大切 にしていかなくてはな らないことを考えさせ る。 ○ 「心のノート」(P.26) の「自分を見つめて」 を活用するのもよい。
終 末	4 教師の説話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段は物事を軽く考えているなあ。 ・ 結果を考えて、しっかりと判断しな がら生活したい。 	○ 自律心と責任感をも って生活していこうと する意欲をもたせる。

6 授業の概要

(1) 主題について

中学生の時期は、自我に目覚め、自主的に考え、行動することができるようになる。しかし、一方では自由の意味をはき違えて奔放な生活を送ったり、周囲の思惑を気にして他人の言動に左右されてしまったりする状況が見られる場合もある。また、自分自身の関わる行為が自分や他人にどのような結果をもたらすかということ深く考えることができない場面が見られることもある。

指導に当たっては、何が正しく、何が誤りであるかを自ら判断して望ましい行動がとれるようにすることが大切である。そのためには、自由を放縦と誤解してはならず、自分の行為が及ぼす結果についても深く考えられるようにすることが必要である。そこで、主人公が行動した姿に共感させることで現在の自分をしっかりと見つめさせ、物事を深く考え、責任ある行動ができる実践意欲を育てたい。

(2) 自作資料活用のポイント

ア 活用する時期

学校生活に慣れた一学期の後半、遠足や総合的な学習の時間のため、生徒が校外に出る機会が増える時期に実施するとよい。

イ 資料の中心場面

中心発問では、主人公が自由時間になっても何もする気持ちになれず、海を見つめていたときの気持ちについて考えさせたい。その中で、自分のとった自由な行動は、責任が伴う自律的な行動でなければならなかったことに気付かせたい。

(3) 指導過程の工夫

ア 展開の工夫

活発な意見交換が行われるように、必要に応じて、小集団による話し合いや動作化、役割演技等を取り入れてもよい。

イ 「心のノート」の活用

展開後段において、「心のノート」P. 26～29「自分のことは自分で決めたい」の項目を読ませ、「あなたの中のどこかに『物事を深く考えない自分』がかくれていますか？」という問いかけに対して、「自分を見つめて」という欄に思いを書かせ、自分の生活を振り返らせるとよい。

執筆者より

校外学習に出かけると、開放感から心がゆるみやすい生徒もいる。展開後段では主人公と似た経験を発表させ、自分自身を見つめ振り返りさせ、ねらいとする価値を深めていきたい。

(東畑中学校 松田 百合)